

## 参考資料

### 「目の健康 意識調査」概要

調査実施日： 2007年4月6日～4月8日

対象： 全国 男性・女性 40歳以上 7,521人  
男性：4,474人(59.5%)、女性：3,047人(40.5%)

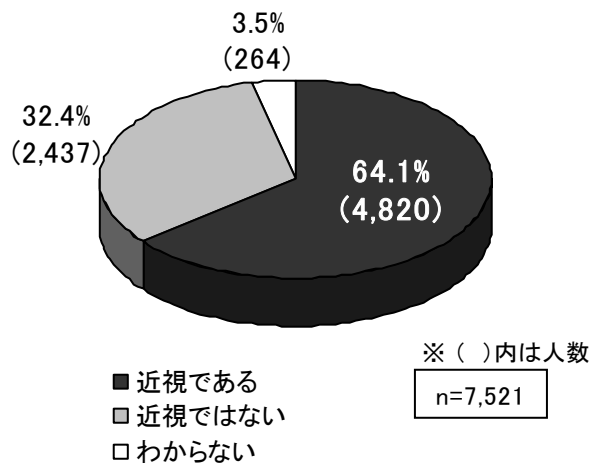
内訳： 40～49歳：4,315人(57.4%)  
50～59歳：2,216人(29.5%)  
60歳以上： 990人(13.2%)

実施方法： インターネット調査

#### ■ 近視者の割合

全回答者の64.1%(4,820/7,521人)が「近視である」と回答しています。

質問：右記の中から、あなたにあてはまるものを1つお選びください。(SA)

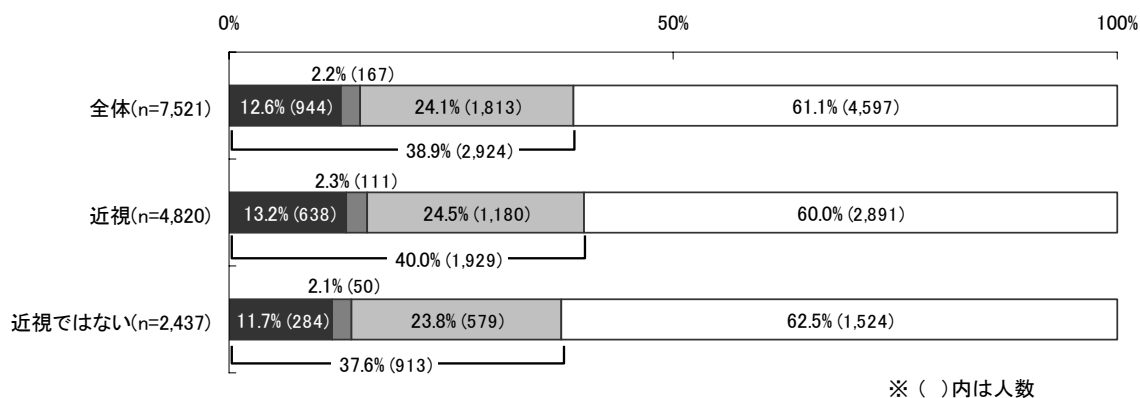


## ■ NTG(正常眼圧緑内障)の認知度

NTG(正常眼圧緑内障)の認知度は、全体では38.9%(2,924/7,521人)で、前回調査での認知度(30.1%)より8.8ポイント上昇しました。

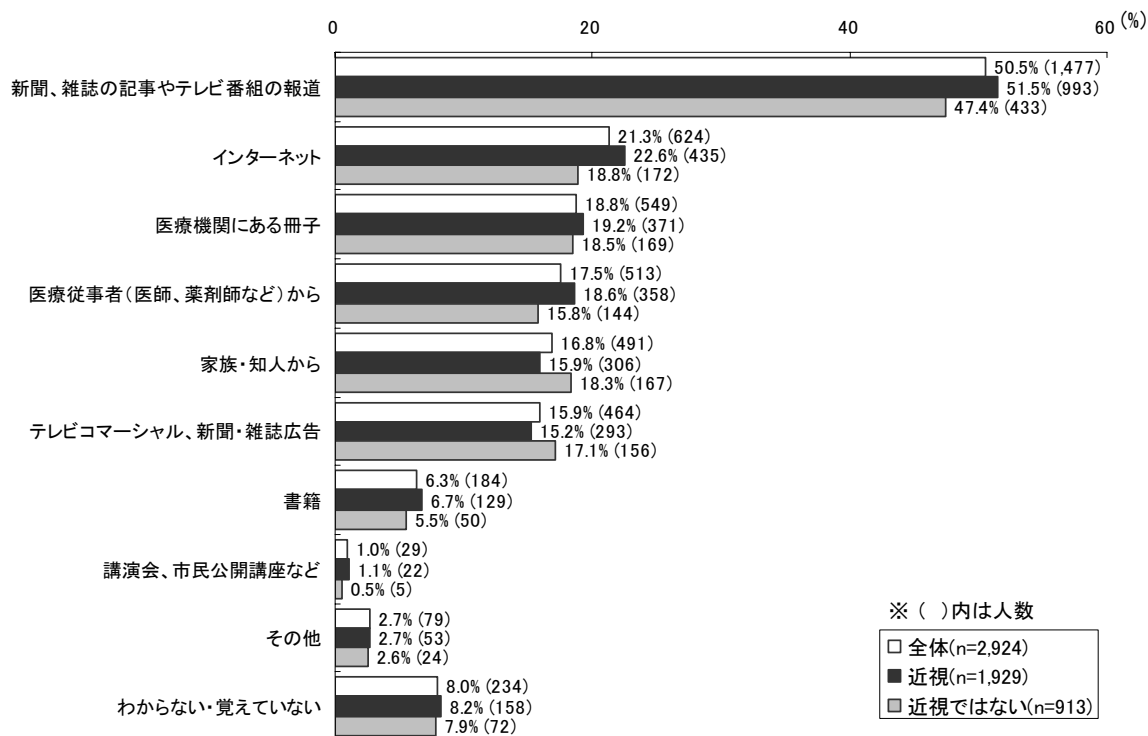
また、主な認知経路は「新聞・雑誌の記事やテレビ番組の報道」で、50.5%(1,477/2,924人)にのぼりました。

質問:「NTG」と「正常眼圧緑内障」についてお伺いします。あてはまるものを1つお選びください。(SA)



- 「NTG」「正常眼圧緑内障」をどちらも知っている(名称だけでも可)
- 「NTG」のみ知っている(名称だけでも可)
- 「正常眼圧緑内障」のみ知っている(名称だけでも可)
- 「NTG」「正常眼圧緑内障」をどちらも知らない

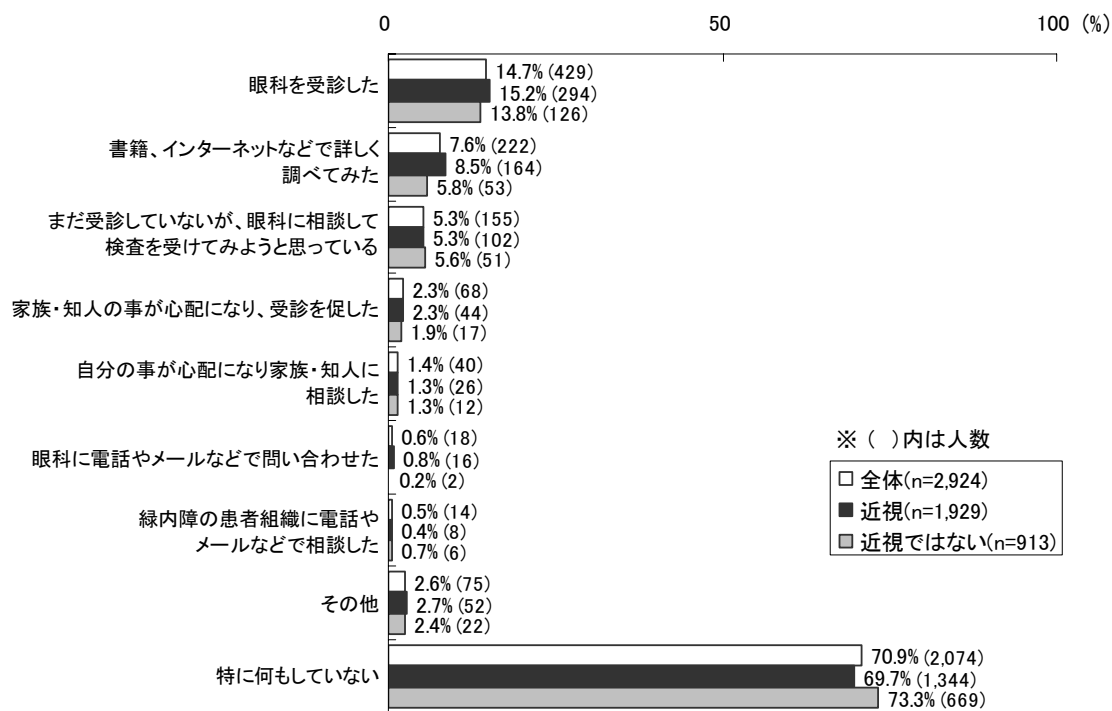
質問:「NTG」と「正常眼圧緑内障」をどのようにお知りになりましたか。下記の中からいくつでも選んでください。(MA)



■ NTG を知った後、実際にしたこと

NTGについて知った後に、実際に行動を起こした人のうち、14.7% (429/2,924人)が「眼科を受診した」と回答しています。

質問: NTG(正常眼圧緑内障)を知った後、あなたが実際にされたことについて右記の中から該当するものをいくつでも選んでください。(MA)



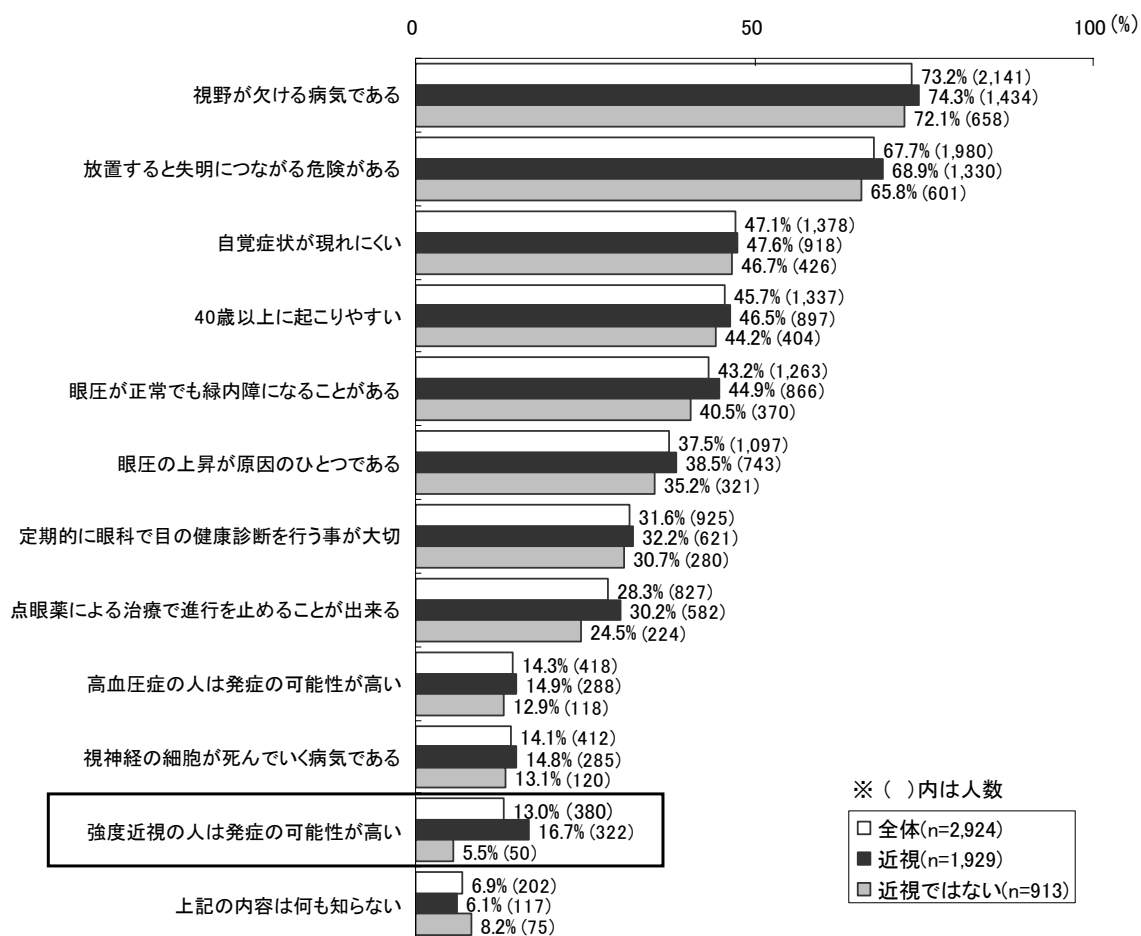
## ■ NTG(正常眼圧緑内障)について知っていること

上位 2 項目については、全体で 73.2% (2,141/2,924 人)、67.7% (1,980/2,924 人)と、高い内容認知度となっています。

「強度近視」の人は発症の可能性が高いという「危険因子」については、前回調査より 3.5 ポイント上昇し全体で 13.0% (380/2,924 人)となり、特に近視の人の認知度 (16.7%、322/1,929 人)は、近視ではない人 (5.5%、50/913 人)の 3 倍以上となったものの、全体ではすべての項目中最も低い認知度となっています。

質問:あなたが NTG(正常眼圧緑内障)についてご存知の内容をいくつでも選んでください。

(MA)



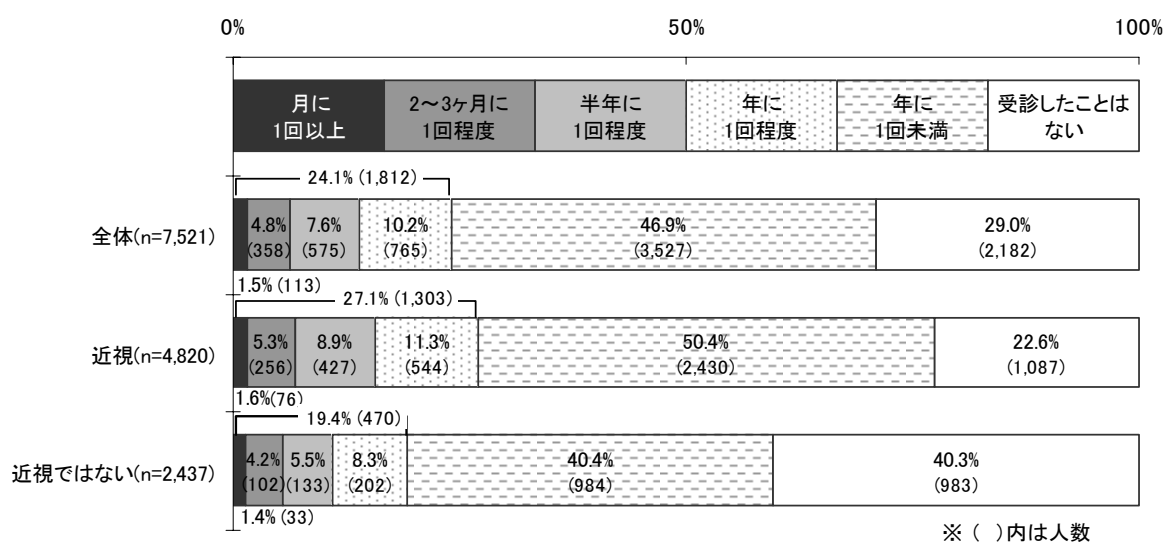
## ■ 眼科受診の頻度と受診理由

年に1回以上眼科を受診する人の割合は、近視の人が27.1% (1,303/4,820人)で、近視ではない人の19.4% (470/2,437人)に比べて7.7ポイント高い結果となっています。

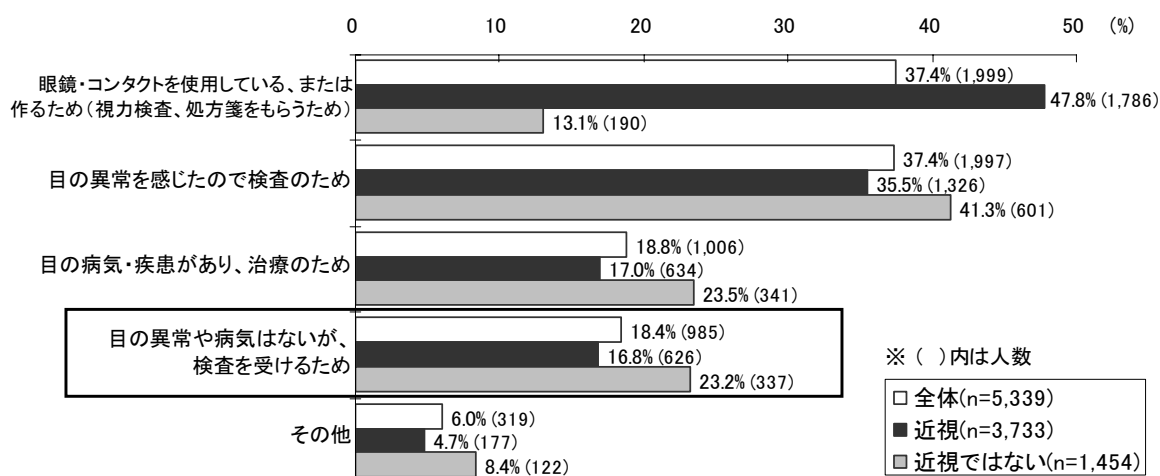
一方、眼科を受診する理由として「目の異常や病気はないが、検査を受けるため」を挙げた人の割合では、近視の人(16.8%、626/3,733人)が近視ではない人(23.2%、337/1,454人)を下回っています。

「目の異常を感じたので検査のため」と回答した人も、近視の人(35.5%、1,326/3,733人)が、近視ではない人(41.3%、601/1,454人)を下回っています。

質問:眼科をどの程度の頻度で受診しますか?あてはまるものを1つお選びください。(SA)



質問:眼科を受診する理由は何ですか?あてはまるものをいくつでもお選びください。(MA)

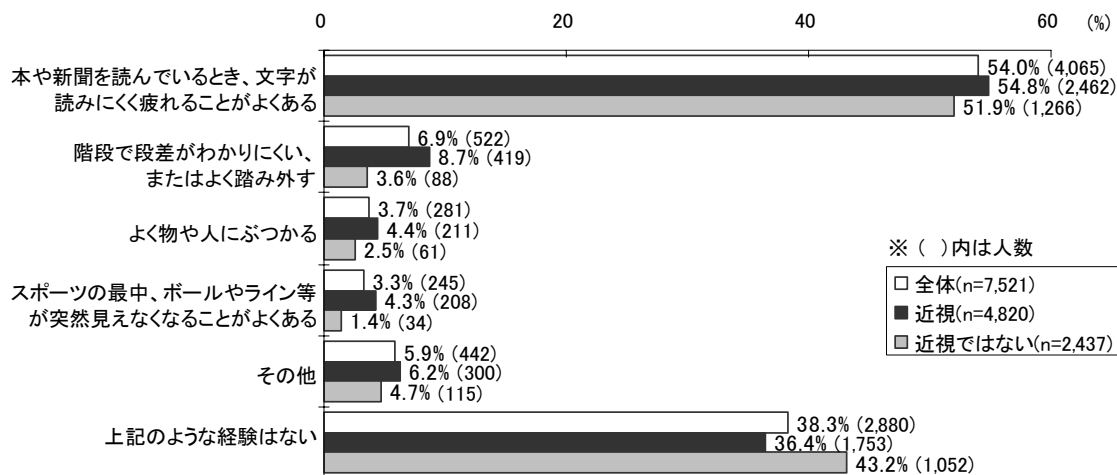


## ■ 日常生活でよく経験する症状や状態

緑内障・NTG の自覚症状の可能性のある症状や状態については、近視の人、近視ではない人ともに過半数が「本や新聞を読んでいるとき、文字が読みにくく疲れることがよくある」と回答しています。

質問: 日常生活で、次のような症状や状態を経験したことはありますか？

よく経験するものをいくつかもお選びください。(MA)

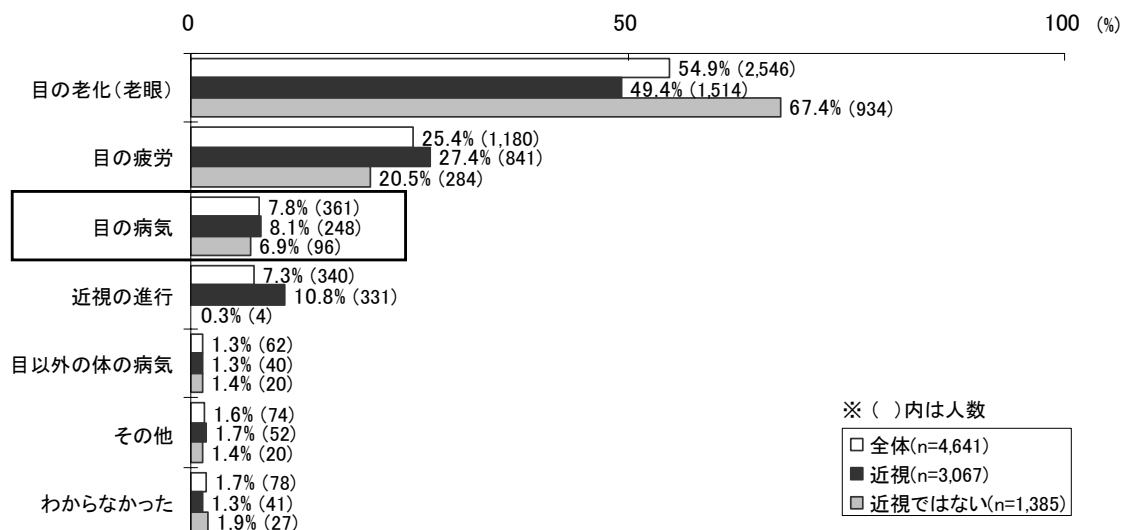


## ■ どのような原因を疑うか

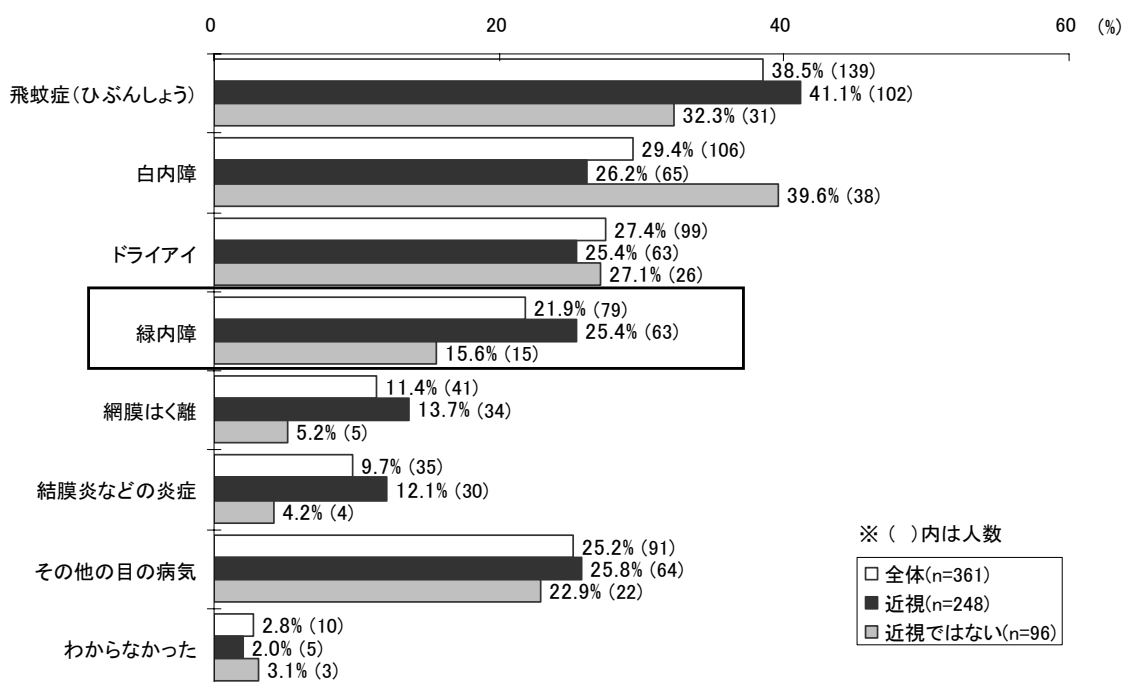
上記のような症状や状態を経験したあと、全体で 54.9% (2,546 / 4,641 人) の人が「目の老化(老眼)」を疑い、「目の病気」を疑った人はわずか 7.8% (361 / 4,641 人) にとどまっています。また、「目の病気」と回答した人のうち、「緑内障」を疑った人は 21.9% (79 / 361 人) でした。上記のような症状や状態を経験した人のうち、緑内障を原因と疑う人はわずか 1.7% (79 / 4,641 人) となります。

質問: 上記の経験をしたとき、どのようなことを原因だと疑いましたか？

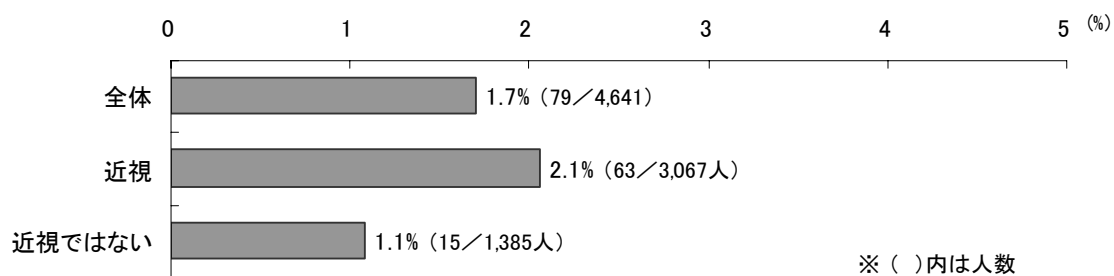
最も当てはまるものを右記の中から 1 つ選んでください。(SA)



質問:どのような病気を疑いましたか?右記の中から該当するものをいくつでも選んでください。  
(MA)



日常生活で何らかの症状や状態を経験した人のうち、「目の病気」を疑い、さらに「緑内障」が原因と考えた人は、全体のわずか1.7%(79/4,641人)となります。

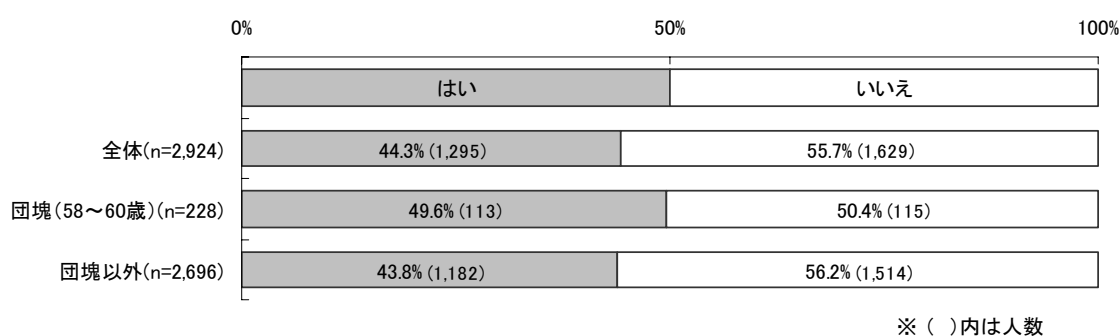


## ■ 今後の眼科受診意向

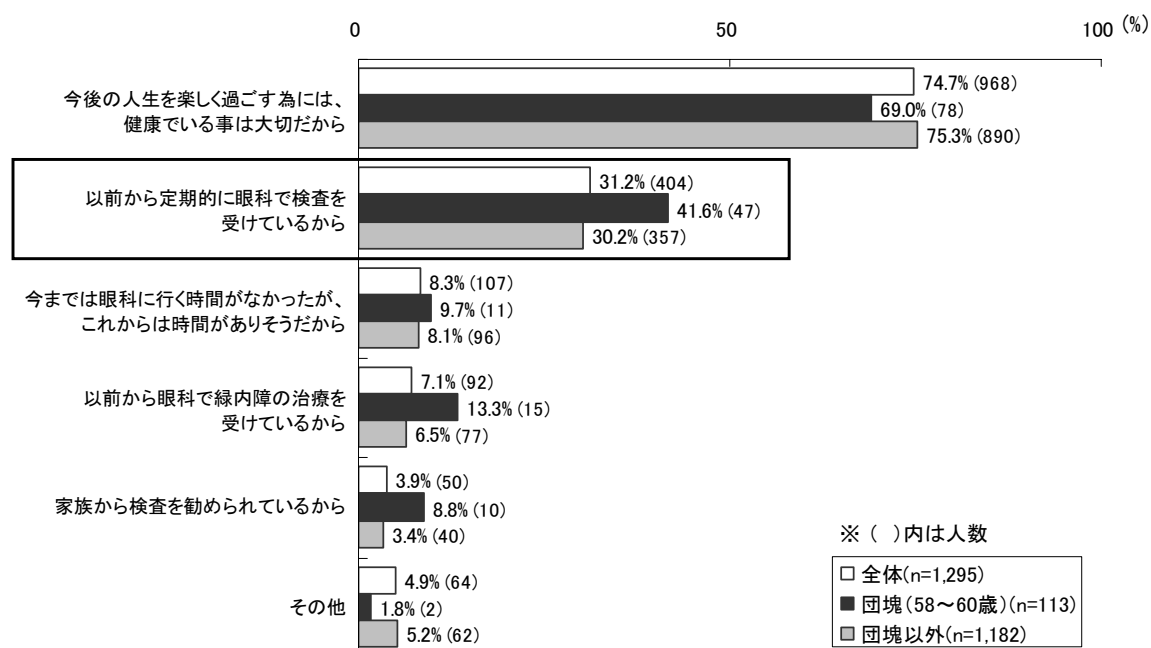
緑内障・NTGを知っていると回答した人のうち、44.3% (1,295 / 2,924 人) が今後、定期的に眼科で緑内障・NTG の検査を受けようと思うと回答しています。

特に「団塊の世代」と言われる 58～60 歳までの人では、理由として「以前から定期的に眼科で検査を受けている」をあげる人が、全体および他の年齢層より 10 ポイント以上高い 41.6% (47 / 113 人) となっています。

質問：今後、定期的に眼科で緑内障・NTG の検査を受けようと思いますか？ (SA)



質問：「はい」と回答した理由を右記からいくつでも選んでください。(MA)



以上